



高齡心不全患者のQOL改善に役立つ漢方（7）

第7回 下腿浮腫



土倉 潤一郎 先生 [プロフィール](#)
土倉内科循環器クリニック 院長



下腿浮腫と水毒

下腿浮腫は高齡心不全患者に比較的多い症候と思われる。一般に下腿浮腫に対する漢方薬の位置付けとしては、“利尿剤の適応がない”あるいは“利尿剤の増量が困難”、そして“患者が困っている場合”と思われる。心不全や腎不全などの基礎疾患があると漢方薬の有効率も低下するが、他に選択肢がない場合には考慮すべきだと思われる。今回は、心不全以外の下腿浮腫も含めて述べる。

浮腫は漢方では水毒（水分代謝・分布異常）という病態であり、利水作用（水分代謝調節作用）を有する利尿剤を用いることが多い。利尿剤の代表である五苓散の研究では、水輸送チャネルであるアクアポリンを介した働きがあること¹⁾、浮腫状態には利尿作用、脱水には抗利尿作用をもたらすこと²⁾、電解質に与える影響はほとんどないこと³⁾などが報告されている。よって、利尿剤は西洋薬の利尿剤と比較し効果は劣るが、「多く服用しても脱水にならない」「電解質や腎機能に与える影響はほとんどない」などの利点がある。



高齡者・冷え症の下腿浮腫に牛車腎気丸（ごしゃじんきがん）（107）

対象者：高齡者の下腿浮腫には第一選択となる。基本的には温める方向性の漢方薬であるため、冷え症であることが望ましい。

処方解説：牛車腎気丸は地黄（じおう）、山茱萸（さんしゅゆ）、山薬（さんやく）、沢瀉（たくしゃ）、茯苓（ぶくりょう）、牡丹皮（ぼたんぴ）、桂皮（けいひ）、附子（ぶし）、牛膝（ごし

つ)、**車前子** (しゃぜんし) の10種類の生薬で構成されている。牛車腎気丸は**八味地黄丸** (7) に牛膝、車前子があわせた漢方薬である。八味地黄丸や牛車腎気丸は加齢に伴う諸症状 (認知機能低下、腰痛、下肢しびれ、下腿浮腫、下肢の冷え、サルコペニア⁴⁾ など) に適応があり、さらに牛車腎気丸は八味地黄丸よりも下腿浮腫により効果的とされている。また、牛車腎気丸はリンパ浮腫患者に対するランダム化比較試験で浮腫を有意に減少させた報告もある⁵⁾。

牛車腎気丸の薬能としては沢瀉、茯苓などによる利尿作用以外にも、滋養強壮作用、温熱作用、末梢循環改善作用などがある。よって、冷えを伴いやすく加齢性変化のある高齢者の下腿浮腫に頻用される。

使い方：牛車腎気丸は温める方向性の漢方薬であるため、冷え症であることが望ましいが、基本的に高齢者は少なからず冷えを伴うことが多いため、高齢者の下腿浮腫に頻用される。効果不十分な場合は利尿作用を有する五苓散 (17) や**当帰芍薬散** (23) などを併用する。冷えない場合には五苓散 (17)、**防已黄耆湯** (20)、**六味丸** (87) などが鑑別にあがる。

注意事項：地黄という胃もたれに注意すべき生薬が含まれている。対応策としては1日1~2包へ減量、食後の服用、胃薬との併用などがある。

事例：82歳女性。以前から下腿浮腫を認めており、歩きづらく困っている。検査では異常所見がなく加齢性と言われた。利尿剤を試したが腎機能が悪化したため中止となっている。下肢の冷えやしびれも認めている。

処方：牛車腎気丸1回1包 1日2回 毎食後 14日分

14日後：「足のむくみはだいぶよいです。体重が58.4kgから57.2kgへ減りました」

28日後：「だいぶ良いです。体重も56.1kgになりました。下肢の冷えやしびれはまだ変わりません」

あらゆる浮腫に五苓散 (ごれいさん) (17)

対象者：特に注意事項はなく、浮腫に対して幅広く使用できる。

処方解説：五苓散は沢瀉 (たくしゃ)、**朮** (じゅつ)、茯苓 (ぶくりょう)、**猪苓** (ちよれい)、桂皮 (けいひ) の5種類の生薬で構成されている。そのうち4つが利尿作用の生薬であり、利尿剤の代表といえる。古典的な五苓散の適応徴候として「口渴、自汗 (汗ばむ傾向)、尿不利 (飲水量の割に尿量が少ない)」があるが、これらすべてが揃うことは稀であり、参考程度に留めてよいと思われる。

使い方：あらゆる浮腫に五苓散は使用できる。用量依存性もあるため、1日2包で効果不十分な場合は1日3包まで増量した方がよい。下腿浮腫でさらに効果不十分な場合は上記の牛車腎気丸 (107)、当帰芍薬散 (23)、防已黄耆湯 (20) を併用あるいは変更する。当帰芍薬散 (23) は五苓散にも含まれる沢瀉、朮、茯苓以外に、**当帰**、**芍薬**、**川芎**が含まれており、利尿作用、末梢循環改善作用、温熱作用などを有する。防已黄耆湯 (20) は**防已**、**黄耆**、朮といった利尿作用を有する生薬が含まれているが、主に下半身の体表面の体液貯留 (下腿浮腫、膝関節水腫など) に働きやすい。

注意事項：特記事項なし



図 下腿浮腫フローチャート

【引用文献】

- 1) Isohama, Y. J. Pharm. Soc. Jpn. 2006, 126, p.70-73.
- 2) 大西憲明ほか. 和漢医薬誌. 2000, 17 (3) , p.131-136.
- 3) 原中瑠璃子ほか. Proc Symp WAKAN-YAKU. 1981, 14, p.105-110.
- 4) Kishida, Y. et al. Phytomedicine. 2015, 22 (1) , p.16-22.
- 5) 阿部吉伸. 漢方医学. 2002, 25 (6) , p.284-287.

(制作担当：CSZ)

土倉 潤一郎（どくら じゅんいちろう）先生 プロフィール

土倉内科循環器クリニック 院長

▶ 経歴

2003年 聖マリア病院
2005年 九州厚生年金病院 循環器内科
2010年 麻生飯塚病院 漢方診療科
2017年 土倉外科胃腸科医院 副院長
2018年 土倉内科循環器クリニック 院長

▶ 専門医資格

日本循環器学会 循環器専門医
心臓リハビリテーション指導士
日本東洋医学会 漢方専門医・指導医
総合内科専門医
日本在宅医学会 認定専門医
プライマリケア認定医

ホームページ： <http://www.dokura-cl.com>

（以上、2021年4月現在）

Copyright(C) ACCENT INC. All Rights Reserved.